

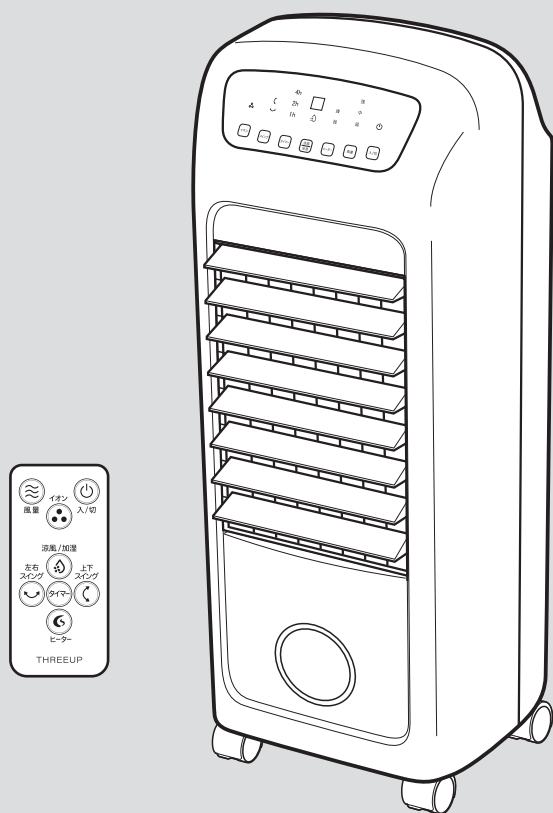
# THREEUP

## 加湿機能付 温冷風扇

## ヒート&クール

# HC-T2302

# 取扱説明書



本製品は日本国内専用です。

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。  
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してご利用ください。

## 目次

### はじめに

安全上のご注意	1~3
各部のなまえ	4
パッケージ内容	5
別売品	5
仕様	5
抗菌カートリッジについて	5

### ご使用の前に

リモコンについて	6
キャスターを取り付ける	6
設置について	7
涼風モードと温風加湿モードについて	7
水タンクに水を入れる	8
保冷タンクや氷を使う	8

### ご使用方法

運転する(送風モード)	9
風量を切り替える(送風モード)	9
運転する(涼風モード)	10
運転する(温風モード)	10
ヒーターを調節する(温風モード)	10
運転する(温風加湿モード)	11
風の向きを変える(スイング)	11
オフタイマーを使う	12
イオン運転する	12
停止する	12

### 点検・修理



お手入れと保管方法	13~14
故障かな?と思ったら	14
長期使用製品についてのご注意	14
保証・サービス	裏表紙

# はじめに







## 安全上のご注意

火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。  
また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことをよく点検してください。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 <b>注意</b>	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	-----------------------------------	---	---------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

   	この図記号は「禁止」されている内容です。	 	この図記号は必ずお守りいただく「指示」内容です。
--	----------------------	---	--------------------------

### 警告



分解禁止

分解や修理、改造をしないでください。  
火災、感電、ケガの原因になります。  
修理技術者以外の人は、分解や修理をしないでください。修理が必要な場合は、スリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



プラグを抜く

長時間ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
絶縁劣化による火災、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気が多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。  
本体やリモコンを水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。  
漏電、感電、火災、故障の原因になります。



禁止

お子様だけで使わせしないでください。  
感電やケガ、事故の原因になります。  
屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。  
絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。  
動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。  
本体の変形によるショートや発火の原因になります。

本体のすき間や可動部にピンや針金などの異物を入れないでください。  
感電や故障の原因になります。



禁止

引火性のもの（殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しないでください。  
また、本体に向けて吹きかけないでください。  
爆発や火災の原因になります。

延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは使用しないでください。  
コンセントや電源プラグ、電源コードが異常発熱し、発火するおそれがあります。

電源をとるコンセントのすぐ下に本体を設置しないでください。  
温風モード使用時、過熱により電源コードや電源プラグが損傷し、感電、火災、事故の原因になります。

風を長時間、直接身体に当て続けしないでください。

温風モードを使用する場合は、長時間、身体と同じ部位を温め続けしないでください。  
健康を害する原因になります。  
また、温風を当て続けると、やけどや低温やけどの原因になります。  
特に皮膚の弱い方、乳幼児、温度調節を自分でできない方には周りの方が注意してください。

ストーブやガスコンロなどの燃焼器具に向けて送風しないでください。  
火災ややけどの原因になります。

乳幼児の手の届くところにボタン電池を置かないでください。  
ボタン電池を誤飲する原因になります。  
万一、誤飲した場合はすぐに医師にご相談ください。

ボタン電池を火の中に入れて、水に濡らしたりしないでください。  
また、分解や加熱をしないでください。  
破裂や発熱の原因になります。

## 警告



禁止

送風口や吸気口をふさいだり、本体を覆ったりしないでください。

衣類やカーテンなどで送風口や吸気口がふさがれたり、本体が覆われたりすると、過熱による本体の変形、発火の原因になります。

温風モードの使用時、運転停止直後はガードに触れないでください。

高温になっているため、やけどのおそれがあります。

電源は必ず家庭用100V電源(容量15A-1500W)を単独で使用してください。

- 異なる電圧での使用は発熱により故障、火災の原因になります。
- タコ足配線はブレーカーが落ちたり、火災の原因になります。

電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。

ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

電源コードや電源プラグを取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 電源コードや電源プラグを乱暴に扱ったり、重いものをのせたり、機器に挟み込んだり、損傷したものは使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- コンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードや電源プラグが破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。

周囲に十分な空間を確保して設置してください。

設置距離について、P.7「設置について」を必ずご確認ください。



必ず守る

ボタン電池を保管、廃棄する際は、電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼ってください。

- 複数のボタン電池が重なり合うと、一方のボタン電池が導線として働き、電極がショートして破裂や発熱を引き起こし、火災につながるおそれがあります。
- 廃棄する際は、お住いの市町村の指示に従って廃棄してください。
- ヘアピンやコインなどの導電物と一緒に保管したり、持ち運んだりしないでください。

長時間リモコンを使用しないときは、ボタン電池をリモコンから取り出してください。

- 消耗したボタン電池を入れたままにしておく、液漏れや腐食により、リモコンが故障する原因になります。
- 液漏れを起こした場合は、液に触れないように注意し、すぐに電池を取り出してください。
- 漏れた液が体に付着した場合はよく洗い流してください。万一、液が目に入った場合はすぐに多量の水で洗い流し、医師にご相談ください。



必ず守る

使用しない場合は、安全な場所に保管してください。

落下、衝撃、水濡れをする場所は避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。

包装用のポリ袋はお子様の手が届かない場所に保管してください。

誤ってかぶると窒息による死亡の原因になります。

異常時や故障時は、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コード、電源プラグが触ることができないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 運転中に異音がする。

その他異常と思われるときは、使用せずスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。

## 注意

本機は家庭用です。業務用として使用しないでください。  
故障の原因になります。

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。  
落下、転倒などにより、ケガや事故の原因になります。

製品の上に物を置いたり、踏み台にしたり、腰掛けたり、寄りかかったりしないでください。  
転倒、破損によるケガや事故の原因になります。

運転中は本体を移動させないでください。  
・運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、内部の水を捨ててから移動してください。  
・排水のために移動する際は、内部の水がこぼれないよう、慎重に移動させてください。  
水が入ったまま本体を強く揺らすと、水が漏れて周囲を濡らす原因になります。

テレビ、パソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。  
テレビ、パソコン、オーディオ機器などに雑音が入る原因になります。

水タンクの中には水道水や氷以外のものを入れないでください。  
・一般的に水道水は塩素殺菌処理がされており、雑菌が繁殖しにくいからです。浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。  
・40℃以上のお湯やアロマオイル、水溶性のアロマ液、化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤を入れた水などは、製品の変形または故障の原因になります。  
・満水ライン「MAX」を超えて水を入れないでください。水がこぼれて床を濡らす原因になります。

ボタン電池を素手で取り扱わないでください。  
・電極 (+/-) を素手で同時に触ると、一気に放電して、消耗を早める原因になります。  
・汗や手油などが付着すると、接触不良の原因になります。

背面カバーを取り外した状態で運転しないでください。

本体内部にホコリがたまりモーターが過熱するなど、漏電や事故、故障の原因になります。

付属の保冷タンクは、本機での使用以外の目的では使用しないでください。

本機の性能を維持するため、定期的にお手入れをしてください。

「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。

お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。  
塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

水タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替え、水タンク内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れしてください。

水を入れ替えずに長時間使用すると、雑菌やカビが繁殖して異臭や健康を害する原因になります。  
長時間ご使用にならない場合や保管する際は、必ず水を捨てて、十分に乾かしてください。

涼風モード運転で水を使う場合は、必ず水タンクに水を入れてください。  
本体に結露が起きて感電や故障、床を濡らす原因になります。

ボタン電池は電極 (+/-) の向きに十分注意して装着してください。  
正常に動作しない原因や、リモコンの故障の原因になります。

送風口や吸気口、可動部に指を入れないでください。  
ケガの原因になります。



禁止



禁止



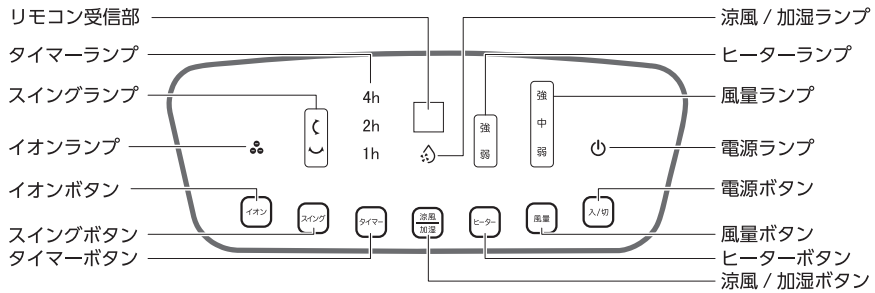
必ず守る



接触禁止

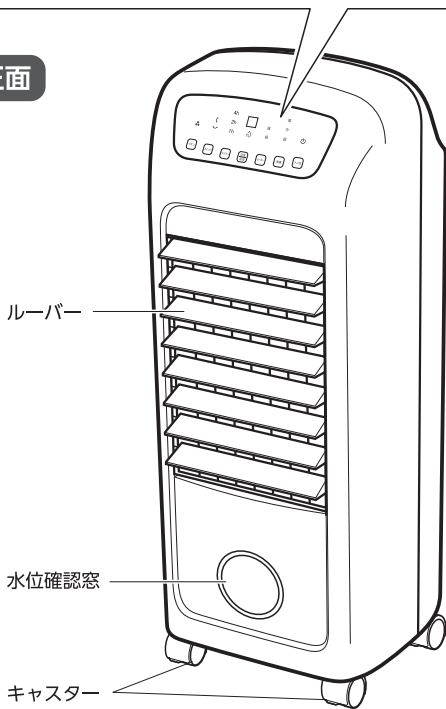
# 各部のなまえ

## 操作部

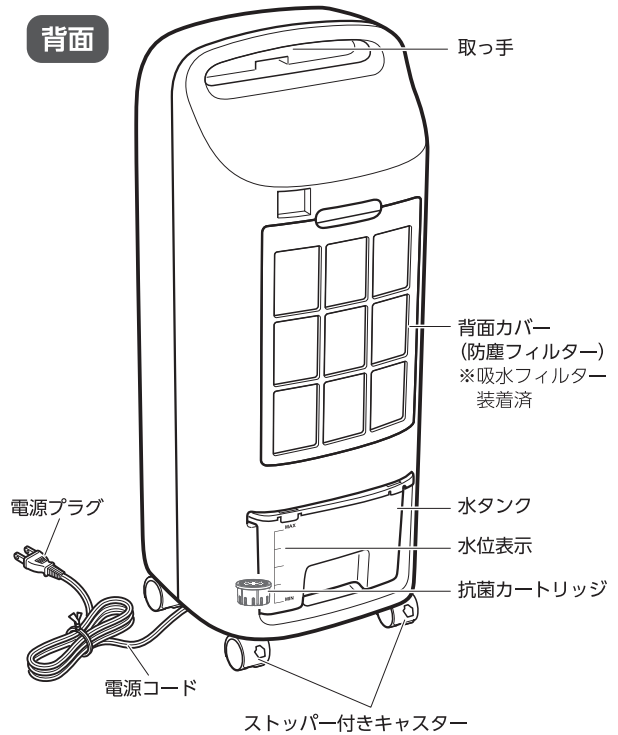


※入/切ボタンを押して、電源をオンにすると、前回電源を切ったときの設定で運転が開始します。

## 正面

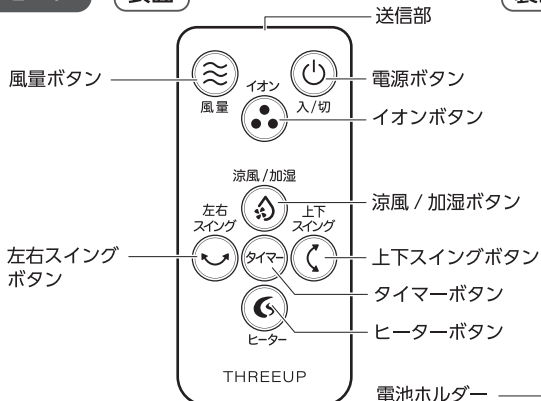


## 背面



## リモコン

### 表面

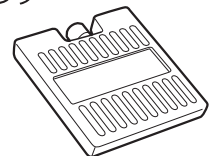


### 裏面



## 付属品

- 保冷タンク



保冷タンクの品質表示	
タンク材質	ポリエチレン
内容物	水52%、塩基30% アクリル酸18%

# はじめに

## パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部品名	個数	部品名	個数
本体	1	リモコン (CR2025電池内蔵)	1
保冷タンク	1	キャスター (内2個ストッパー付)	4
取扱説明書 (保証書付き) 本書	1	抗菌カートリッジ	1

## 別売品

下記の別売品または付属品をお買い求めの際は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部品名	個数	商品単価 (税込)
吸水フィルター	1	1,650 円
保冷タンク	1	880 円
抗菌カートリッジ	1	990 円

※ 上記の費用以外に、送料と代引き手数料がかかります。

## 仕様

本体サイズ	幅30.5×奥行29.5×高さ75cm (キャスター含む)	本体重量	約6.9 kg (キャスター含まず)
電源	AC100V 50/60Hz	材質	ABS樹脂
消費電力	涼風モード時/50W、ヒーター「強」使用時/1200W・「弱」使用時/900W		
風量	強・中・弱 (3段階切替) ※ヒーター使用時は1段階		
ヒーター調節	強・弱 (2段階切替)	加湿量	約300ml/h
オフタイマー	1～7時間 (1時間単位)	自動ルーバー	上下/左右
水タンク容量	最大5.5 L	コード長	1.75 m
1時間あたりの電気代	約1.55円 (涼風モード運転時)、約37.2円 (ヒーター「強」連続運転時)		
モード	送風モード、涼風モード、温風モード、温風加湿モード、イオンモード		

※ 商品は改良の為、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。

※ 1時間あたりの電気代は、単価31円/kWh (税込) で計算した際の目安となります。

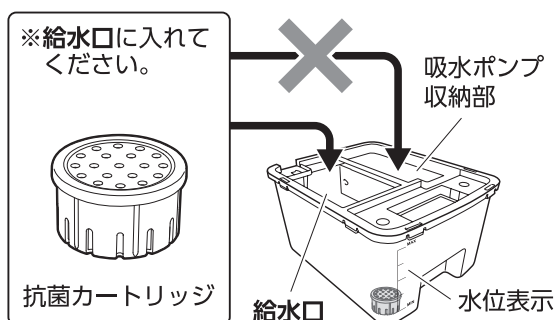
## 抗菌カートリッジについて

カートリッジ内部のセラミックボールが水タンク内の雑菌の繁殖を防ぎ、浄化します。

**⚠ 注意**

抗菌カートリッジは、必ず水タンクの「給水口」(水位表示寄り)に入れてください。

「吸水ポンプ収納部」に入れると吸水ポンプに引っかかり、水タンクが取り出せなくなる場合があります。





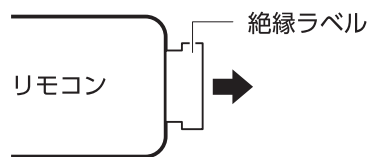
# ご使用の前に

## リモコンについて

### ■ リモコン電池

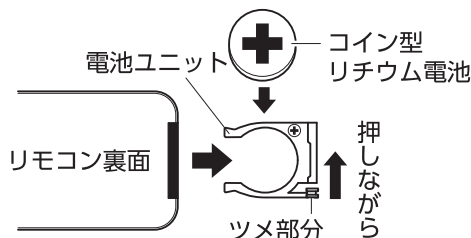
工場出荷の段階でボタン電池がセットされています。  
ご使用前に絶縁ラベルを引き抜いてください。

※ 製品に最初から付属しているボタン電池はテスト用のため、  
新しい電池に比べて寿命が短い場合があります。



### ■ 電池の交換……※ ボタン電池 : CR2025

- ① リモコン裏面の電池ユニットのツメ部を、矢印方向に押しながら引き抜きます。
- ② ボタン電池の【+】を上にしてセットした後、電池ユニットを「カチッ」と音がするまで、しっかりとはめ込んでください。



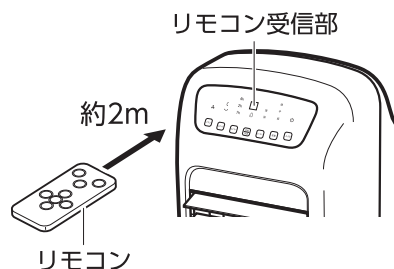
## ⚠ 注意

- 電池のプラスとマイナスは十分注意してセットしてください。
- 長時間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐためにリモコンから電池を取り出してください。消耗した電池を入れたままにしておくと、液漏れや腐食によりリモコンを傷めることがあります。
- 電池が液漏れを起こした場合は、すぐに取り出し、液を素手でさわらないでください。漏れた液が体に付着した場合はよく洗い流してください。
- 電池を火の中に入れてください。また、ショートさせたり、分解や加熱したりすることは危険ですので、絶対にしないでください。
- 電池が消耗すると操作できる距離が短くなりますので、早めに新しい電池(CR2025)に交換してください。
- 乳幼児の手の届くところにリモコンを置かないでください。電池誤飲の原因となります。

### ■ 操作範囲

リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に向けて使用してください。操作距離は直線で約2mです。

テレビやオーディオのリモコン等を使用した際、まれに本体が反応して動作することがあります。これは本製品と同じ周波数で起きる現象です。そのような場合は本体に影響しない場所でご使用ください。

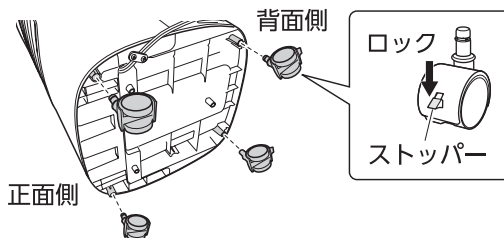


## キャスターを取り付ける

## ⚠ 警告

必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。

- ① 毛布などの上に本体を寝かせます。
- ② 本体底面の取付穴にキャスターをしっかりと押し込みます。  
キャスターはストッパー付きを本体背面側に取り付けてください。



## ⚠ 注意

- ストッパー付きのキャスターは、ロックした状態で取り付けてください。
- キャスターは必ず取り付けてください。取り付けないで使用すると本体が不安定になり転倒したり、床を傷つけたりする原因になります。

# ご使用の前に

## 設置について

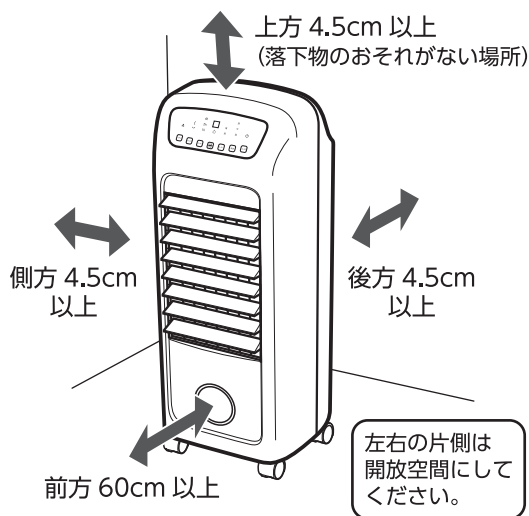


### 注意

斜面や不安定な場所に設置すると転倒などの原因になりますので、必ず水平で安定している場所に設置してください。

本体背面のフィルターが壁やカーテンなどでふさがれないよう十分な距離をとり、水平な場所に設置してください。

- 換気の良い窓やドアの近く、直射日光の当たらない場所で使用するとより効果的です。
  - エアコンの補助冷房として使用すると、効率よく部屋全体を冷房することができます。
  - 極端に高温になる場所や、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
  - 家具や電化製品、壁などに直接風が当たるような場所に設置しないでください。
  - テレビやパソコン、オーディオ機器などの近くに設置すると、雑音などが入る場合がありますので、十分に距離をとって設置してください。
- ※初めてご使用の際は、使い初めに少し塗料または油分の臭いがすることや、まれに少量の煙が出る場合がありますが、故障や異常ではありません。ご使用にともない消えてなくなります。



## ■ 転倒時自動オフスイッチ

本体が転倒したり、傾いたりした時に自動で運転を停止します。

- 転倒時自動オフスイッチが作動して運転が一旦停止した場合、同時に電源も切れます。引き続きご使用の場合は、水平な床面に設置して本体またはリモコンの「電源ボタン」を押してください。

## ■ 安全装置

ヒーター使用時に温度が上昇しすぎるとサーモスタットが作動し、自動的に運転が停止します。少し時間をおいて温度が下がれば、運転を再開できます。

- ※ 異常な温度上昇を感知した場合は、温度ヒューズが作動し、回路を遮断する場合があります。その場合は温度が下がっても運転は再開できません。

## 涼風モードと温風加湿モードについて

本製品の涼風モードと温風加湿モードは、水の気化熱を利用して運転します。

### 涼風モード

水を含んだ吸水フィルターに風を当て、湿った空気を送風します。  
※コンプレッサーで冷却するエアコンと同じような冷たい風は出ません。

### 温風加湿モード

水を含んだ吸水フィルターに風を当て、ヒーターを通り湿った暖かい空気を送風します。



## 水タンクに水を入れる

※送風のみでご使用の場合は給水不要です。

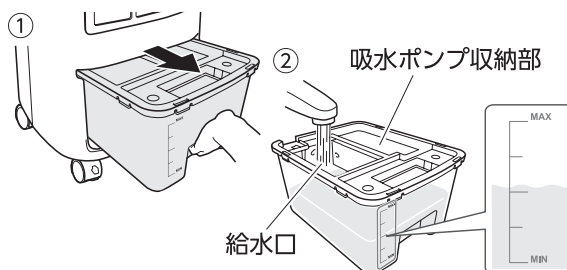
### 警告

必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。

### 注意

- 必ず水道水を入れてください。  
一般的に水道水は塩素殺菌処理がされており、雑菌が繁殖しにくいからです。
- 水タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替え、水タンク内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れしてください。  
お手入れをせずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。体質によっては、過敏に反応し、健康を害する原因になります。
- 以下のような水は水タンクに入れないでください。
  - ・浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。
  - ・40℃以上のお湯やアロマオイル、水溶性のアロマ液、化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤を入れた水などは、製品の変形または故障の原因になります。
- 本体を移動させる際は、水タンク内の水がこぼれないように、ゆっくりと移動させてください。水が漏れて床が濡れる原因になります。

- ① 本体背面の水タンクを取り出します。
- ② 水タンクの水位表示を確認しながらゆっくりと水を水タンクへ入れます。
  - ・水タンクの最大容量は5.5Lです。
  - ・水位が「MIN」より低いと、タンクの水を吸い上げることができません。「MAX」と「MIN」の範囲内におさまるように水を入れてください。
- ③ 本体に水タンクを奥までしっかりと取り付けます。



### メモ

水タンクに水を注ぎ足す際や排水する際に水タンクを引き出すと、水路に残った水が吸水ポンプより流れ出てきます。流れ出てきた水はタオルなどで拭き取ってください。拭き取らずにご使用を続けると、水が漏れて床が濡れる原因になります。

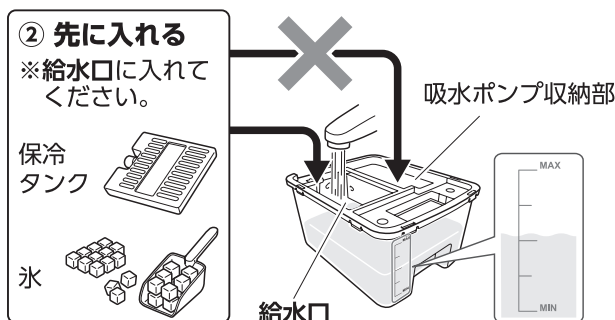
## 保冷タンクや氷を使う

凍らせた保冷タンクや氷を水タンクに入れると涼風効果が高まります。

### 警告

- 保冷タンク・氷は必ず「給水口」に入れてください。  
※「吸水ポンプ収納部」に入れると吸水ポンプに保冷タンクや氷が引っかかり、水タンクが取り出せなくなる場合があります。
- 保冷タンクのふたを開けないでください。
  - ・皮膚に付いた場合は、すぐに石けんと水で洗ってください。
  - ・飲み込んだ場合は、すぐに医師の診断を受けてください。
  - ・目に入った場合は、すぐに水で洗い異常があったときは医師の診断を受けてください。
- 氷を入れすぎると水タンクに結露が起き、床を濡らすおそれがあります。  
本体の下にトレーなどを敷いて使用してください。※トレーは付属していません。

- ① 保冷タンクを冷凍庫で凍らせます。  
4～5時間程度で凍ります。
- ② 水タンク給水口に保冷タンクまたは氷を入れてから水を入れる。
  - ・水タンクに水が入っている場合は、水を排水してから保冷タンクまたは氷を入れてください。
  - ・保冷タンクの効果がなくなったら、再度冷凍庫で凍らせます。(保冷タンクは繰り返し使用できます。)



# ご使用方法

## ⚠ 注意

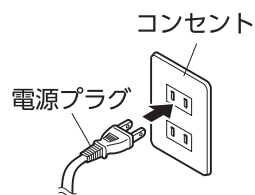
- 電源プラグは奥までしっかり差し込み、電源コードは束ねたまま使用しないでください。
- 運転中にフィルターを取り外さないでください。
- 運転中に水タンクを外したり、給水したり、保冷剤を入れたりしないでください。
- 背面カバーが外れているとインターロックが作動し、電源が入りません。
- 乳幼児やお年寄り、体調のすぐれない方に長時間風を当てないでください。
  - ・健康を害するおそれがあります。
  - ・おやすみ前の使用はタイマーや自動ルーバー機能を使用して、直接風が長時間当たらないようにしてください。

## 運転する(送風モード)

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。

“ピピッ”と電子音が鳴ります。

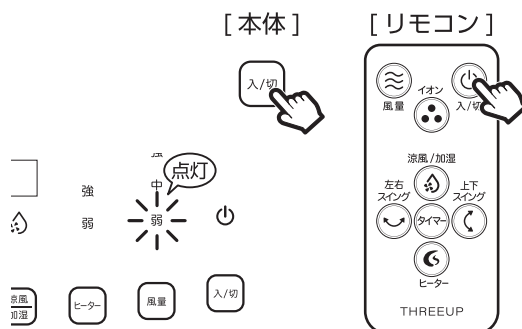
※ 数秒間モーター音がしますが異常ではありません。



- ② 本体またはリモコンの『電源』ボタンを押します。

“ピッ”と電子音が鳴って風量「弱」で運転を開始します。

同時に本体の「風量ランプ」が点灯します。

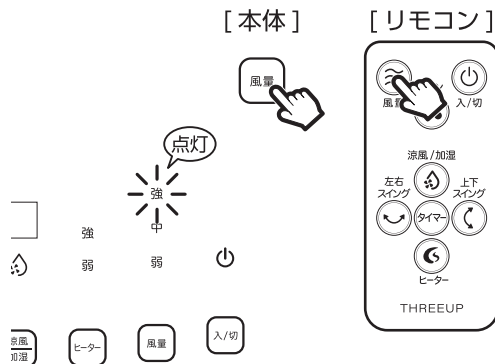


## 風量を切り替える(送風モード)

送風運転中に本体またはリモコンの『風量』ボタンを押します。

『風量』ボタンを押すごとに“ピッ”と電子音が鳴り、風量が切り替わります。

風量は強・中・弱の3段階に設定できます。



## 運転する(涼風モード)

- 送風運転中に本体またはリモコンの『涼風/加湿』ボタンを押します。

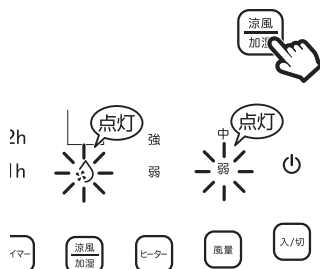
“ピッ”と電子音が鳴って涼風運転を開始し、同時に本体の「涼風/加湿ランプ」が点灯します。

※水タンクに水が入っていない時に『涼風/加湿』ボタンを押すと、警告音が鳴って「涼風/加湿ランプ」が点滅します。再度『涼風/加湿』ボタンを押すと点滅が止まります。

- 水タンクの水が水量表示の「MIN」を下回ったら給水してください。

※涼風運転を続けて使用すると、水タンクの水が徐々に減ってきます。水位表示の「MIN」を下回ると警告音が鳴り、自動的に送風運転に変わります。

[本体]



[リモコン]



### 注意

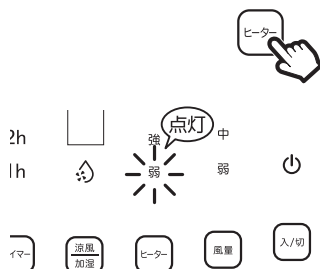
- 涼風モードをご使用前に、背面の吸水フィルターが背面カバーにしっかりとハマっているか確認してください。  
吸水フィルターがずれていると、そのすき間や前方の送風口から水が飛散する場合があります。
- 涼風モードでご使用の際は部屋のを開けてください。  
閉め切った室内で長時間使用すると、周囲の湿度が高くなります。  
湿度が高いと気化しにくくなり涼風の効果が得られない場合があります。
- 室温や湿度変化により（保冷剤や氷を使わなくても）水タンク内の水で本体に結露が発生する場合があります。
  - ・柔らかい布などで本体の結露を拭き取ってください。
  - ・本体の下にトレーなどを敷いて使用してください。※トレーは付属していません。

## 運転する(温風モード)

送風運転中に本体またはリモコンの『ヒーター』ボタンを押します。

“ピッ”と電子音が鳴って温風運転を開始し、同時に本体の「ヒーターランプ」が点灯します。

[本体]



[リモコン]



## ヒーターを調節する(温風モード)

- 温風運転中に本体またはリモコンの『ヒーター』ボタンを押します。

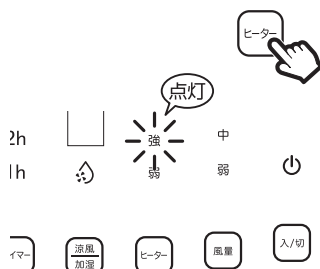
※温風モード時は風量の切り替えはできません。

- 温風モードから送風モードへの切り替えは、『ヒーター』ボタンを押すごとに“ピッ”と電子音が鳴り、「ヒーター弱」→「ヒーター強」→「送風弱」の順に切り替わります。

ヒーター調節は強・弱の2段階に設定できます。

※温風モードから送風モードに切り替えても、直ちに送風が開始されることはなく、温風吹き出しユニット機構が元の位置に戻るまで送風は開始されません。故障ではありませんので、そのままご使用ください。

[本体]



[リモコン]



# ご使用方法

## 運転する(温風加湿モード)

- 温風運転中に本体またはリモコンの『涼風/加湿』ボタンを押します。

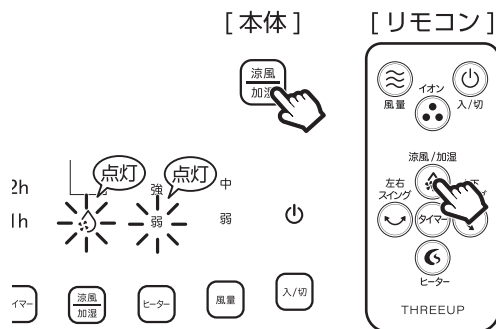
“ピッ”と電子音が鳴って温風加湿運転を開始し、同時に本体の「涼風/加湿ランプ」が点灯します。

水タンクに水が入っていない時に『涼風/加湿』ボタンを押すと、警告音が鳴って「涼風/加湿ランプ」が点滅します。再度『涼風/加湿』ボタンを押すと点滅が止まります。

- 水タンクの水が水量表示の「MIN」を下回ったら給水してください。

温風加湿運転を続けて使用すると、水タンクの水が徐々に減ってきます。水位表示の「MIN」を下回ると警告音が鳴り、自動的に温風運転に変わります。

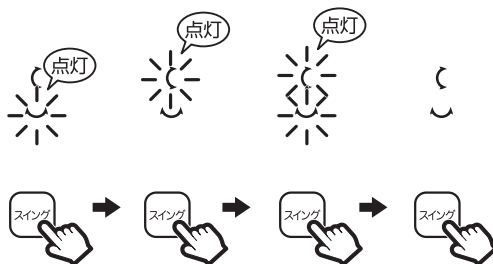
※加湿方式は気化式のためミストは出ません。



## 風の向きを変える(スイング)

### ■ 本体操作の場合

運転中に本体の『スイング』ボタンを押します。『スイング』ボタンを押すごとに“ピッ”と電子音が鳴り、「左右スイング」→「上下スイング」→「上下左右スイング」→「スイング停止」の順にスイングが切り替わります。

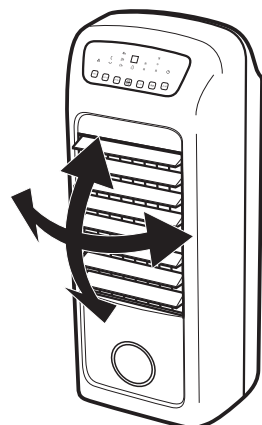
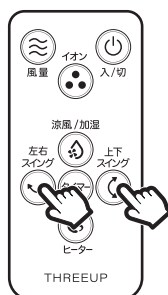


### ■ リモコン操作の場合

運転中にリモコンの『左右スイング』ボタンを押すと“ピッ”と電子音が鳴り、左右にスイングします。また『上下スイング』ボタンを押すと“ピッ”と電子音が鳴り、上下にスイングします。スイング中に再度同じボタンを押すとスイングが停止します。

リモコン操作でも上下左右の同時スイングをすることができます。

※上記の操作以外でルーバーの角度調節をしないでください。



## オフタイマーを使う



**警告**

外出時や就寝時は、必ず運転を停止してください。  
事故や火災の原因になります。  
オフタイマーを設定して運転させた状態で、外出や就寝はしないでください。

運転中に本体またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。  
ボタンを押すごとに“ピッ”と電子音が鳴り、設定時間が切り替わります。

[本体]

[リモコン]



<1時間> <2時間> <3時間> <4時間> <5時間> <6時間> <7時間> <OFF>

4h  
2h  
1h

4h  
2h  
1h

4h  
2h  
1h

4h  
2h  
1h

4h  
2h  
1h

4h  
2h  
1h

4h  
2h  
1h

4h  
2h  
1h



『タイマー』ボタンを押すごとに、1時間単位で設定時間が増えます。  
オフタイマーは最長7時間まで設定できます。



## イオン運転する

運転中に本体またはリモコンの『イオン』ボタンを押すと、  
“ピッ”と電子音が鳴ってマイナスイオンが発生します。  
同時に本体の「イオンランプ」が点灯します。

[本体]

[リモコン]



点灯

イオン

スイング

タイマー

涼風  
加湿

2h

1h

## 停止する

運転中に『電源』ボタンを押します。  
“ピッ”と電子音が鳴り、運転が停止します。  
同時に本体の全てのランプが消灯します。

[本体]

[リモコン]



- 温風モード中に『電源』を切るとヒーターの冷却のため約60秒間の送風運転を行ったあと停止します。
- 運転開始から完全に停止するまでの間、絶対にルーバーには触れないでください。指を挟みケガをするおそれがあります。
- ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



**注意**

長時間使わないときは、水タンクの水を捨ててください。

## お手入れと保管方法



### 警告

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
感電やケガの原因になります。



### 注意

本体に水をかけないでください。感電・ケガ・故障の原因になります。

### ■ 本体・リモコンのお手入れ

本体の汚れは柔らかい布をぬるま湯か薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き取ってください。その後乾いた布で拭いてください。

- シンナーやベンジン、アルコールなどでお手入れはしないでください。
- お手入れの後は、本体が乾いてからご使用ください。



### ■ 水タンクのお手入れ

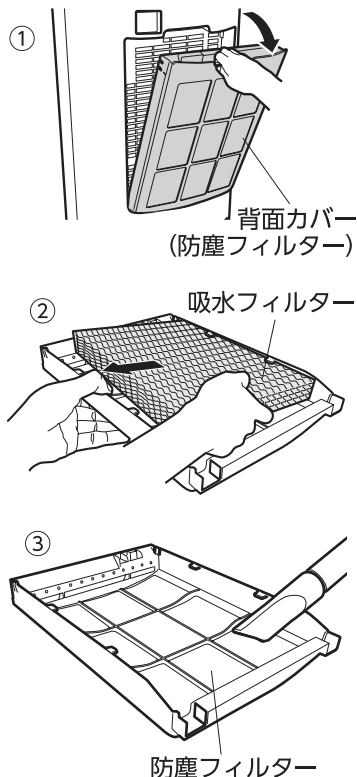
- 本体と同様のお手入れをしてください。
- 水タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ替え、水タンク内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れしてください。浴室など濡れてもよい場所で水を入れ替えてください。
- 抗菌カートリッジは水タンクから取り出し、水洗いしてください。



**メモ** 抗菌カートリッジは約6か月を目安に交換してください。

### ■ フィルターのお手入れ

- ①背面カバーを手前に引いて取り外します。
- ②背面カバーのツメ部分を横に広げながら吸水フィルターを取り外し、水洗いしてしっかり乾燥させます。  
※無理な力で外そうとするとフィルターを壊してしまうおそれがあります。
  - 傷みがひどい、におい・汚れが取れない場合は吸水フィルターの交換が必要です。スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。
  - 涼風モード、温風加湿モードで運転した後は吸水フィルターに水がたまっています。浴室など濡れてもよい場所で取り外してください。
- ③防塵フィルターのホコリは、掃除機で吸い取ります。
- ④背面カバーのツメ部分を横に広げながら、吸水フィルターを取り付けます。
- ⑤背面カバーを本体に取り付けます。
  - 背面カバー下部のツメを本体に合わせ、上部を押しつけてしっかり取り付けます。
  - 本機の性能を維持するため、1か月に1回は防塵フィルターと吸水フィルターのお手入れを行ってください。
  - 長期間使用しない場合はお手入れをした後、1～2時間のカラ運転（风量「強」、涼風/加湿「切」）をして内部を乾燥させてください。（カビなどの発生を防ぎます。）



**メモ** 背面カバーが正しく取り付けいていないと電源が入りません。



## ■ 保管方法

お手入れのあと、各部の水分を乾いた布などでよく拭き取ってください。

湿ったまま保管すると、カビの発生や故障の原因となります。

お買い上げ時の箱に入れるか、ポリ袋などで包み、湿気の少ない所に保管してください。

## 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目の確認をお願いします。

症 状	考えられる原因	対処方法
運転しない	・電源プラグが外れている。	・電源プラグをコンセントに接続してください。
電源が入らない	・背面カバーが正しく取り付けられていない。	・背面カバーが正しく取り付けられていないと安全装置により電源が入りません。背面カバーを正しく取り付けてください。
運転が停止した	・オフタイマーを設定している。	・オフタイマーを設定すると、設定時間になると自動的に運転を停止します。設定を「OFF」にするか設定を変更してください。
電源を切っても停止しない	・温風モードの停止直後である。	・温風モードの停止直後は、ヒーターの冷却のため約60秒送風が続きます。故障ではありません。
リモコンで動作しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『電源』ボタンを押していない。</li> <li>・ボタン電池が消耗している。</li> <li>・ボタン電池の入れかた(+/-)が間違っている。</li> <li>・本体の受信部にリモコン送信部を向けていない。または本体の受信部とリモコン送信部の間に障害物がある。</li> <li>・本体とリモコンとの距離が離れている。</li> <li>・本体の受信部とリモコンの送信部が汚れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『電源』ボタンを押してください。</li> <li>・新しいボタン電池に交換してください。</li> <li>・ボタン電池を正しい向きに入れ直してください。</li> <li>・障害物を取り除き、リモコン送信部を本体の受信部に向けてください。また、誤作動などが発生する場合は、本体の設置場所を変更してください。</li> <li>・操作距離は直線で約2mです。操作位置または本体の設置場所を変更してください。</li> <li>・本体の受信部とリモコンの送信部のお手入れをしてください。</li> </ul>
涼風(温風加湿)が作動しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『涼風/加湿』ボタンを押していない。</li> <li>・水タンクの水が無くなっている。</li> <li>・防塵フィルター、吸水フィルターが汚れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『涼風/加湿』ボタンを押してください。</li> <li>・水タンクに給水してください。</li> <li>・防塵フィルター、吸水フィルターのお手入れをしてください。</li> </ul>
臭いがする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水タンク内の水を取り替えていない。</li> <li>・防塵フィルター、吸水フィルターが汚れている。</li> <li>・水タンク内が汚れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水タンク内の水は定期的に入れ替えてください。</li> <li>・防塵フィルター、吸水フィルターのお手入れをしてください。</li> <li>・水タンク内のお手入れをしてください。</li> </ul>
水が漏れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吸水フィルターが正しく取り付けられていない。</li> <li>・水タンク内の水量が多すぎる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吸水フィルターを正しく取り付けてください。</li> <li>・水タンク内の水量を適正な状態にしてください。</li> </ul>

※ 上記の点検を行っても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

※ 当社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。

## 長年ご使用の製品はよく点検を行ってください。

### ●このような症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードや電源プラグが破損した。
- ・コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・焦げ臭いにおいがする。
- ・その他の異常や故障がある。



このような症状の際は、事故防止のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店またはスリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。